

社会活動委員会 第9回異業種交流会
 北海道の輝く女性の会との
 異業種交流会

河村 巧

1. はじめに

社会活動委員会では、技術士業務の開拓や知名度向上のため、様々な士会や業界団体の方たちとの異業種交流会を行ってきました。

今回は今までとは違い、多業種の集まりとして、「北海道の輝く女性の会」との異業種交流会を実施することができました。

前回に引き続き、森本部長にも参加頂き、会の運営も過去とは違う方式で行いましたので、全体を通しての報告をさせていただきます。

2. 交流会概要

交流会は、2月7日(金)18:30～21:30、札幌すみれホテルで行いました。

参加者は、以下の通りです。

表-1 異業種交流会参加者

北海道の輝く女性の会 8名

山岡 紀子	Raise(レイズ) 代表
山本 亜紀子	(株)エルアイズ 代表取締役
早川 知詠子	(株)メディカルシステムネットワーク 薬局事業本部 地域薬局事業 セクショ ン マネージャー
佐藤 道子	北海道大学 大学院医学研究院 医学院 医学部医学科 広報室
宮治 有希乃	寄りそうコンサルタントグループ HR LABO 代表
陳 華儀	リージョンズ(株) コンサルタント
小原 瑞穂	mcM 代表/フリーアナウンサー
五十嵐 知美	(株)インタフェース 取締役

(公社)日本技術士会北海道本部社会活動委員会 9名

森 隆広	本部長：建設・総合
植村 豊樹	委員長：建設・総合
岩田 徳夫	副委員長：建設・総合
青山 裕俊	幹事長：農業・建設・総合
永井 登茂美	建設・総合
成田 登	衛生工学・総合
松本 英明	水産・建設
宮本 真一	機械
河村 巧	建設・総合

参加して頂いた方は、多種多様な職業に就かれていることもあり、種々アピール時間と意見交換者が固定しないよう、次のような流れで実施しました。

(1)交流会の流れ

女性の会の方達には、2つの円卓にくじ引きで着席して頂き、最初に異業種交流会の趣旨説明を司会の河村から行い、植村委員長から代表者挨拶、次に各自簡単な自己紹介(プロフィールを事前配布)後、青山幹事長から技術士の紹介を行いました。



写真-1、2 代表者挨拶(植村)・技術士の紹介(青山)



写真-3 交流会の状況

その後、北海道の輝く女性の会を代表して Raise 代表の山岡紀子さんからミニ講演をして頂き、講演終了後には技術士メンバーは円卓を交代し、会食しながらの意見交換のほか、参加者全員のテーブルスピーチという流れで実施しました。

以下に、ミニ講演会の概要とスピーチ内容を含めた北海道の輝く女性の会の方達のご紹介をします。

(2) ミニ講演会の概要

講演者の山岡さんは、大手ブライダル会社勤めの10年間で1万件以上の結婚式を手掛け全国 No.1 の成績を収められたそうで、その後、後継者育成のために人間学を学び、多くの専門学校で非常勤講師として勤務されました。平成17年に Raise を創業し、「人の強みを生かす」をモットーに様々な会社の研修・コンサルティングを行っており、“確実に影響力をアップ”させる専門家です。



写真-4 ミニ講演会の状況

研修実績として、

・延べ5,000人のカラー診断、メイクアップ、骨

格診断

- ・美容師、理容師、スタイリストの講習担当
 - ・営業マン向けのセルフプロモーション『自分を売り込む力』
 - ・経済団体や経営者向け『セルフプロデュース』
- などが挙げられます。

今回のミニ講演は、イメージコンサルタントの立場から『第一印象を上げて仕事に活かす!』というものでした。

冒頭、「第一印象」はどのくらいの時間で決まるか知っていますか?、「第一印象」は何で決まると思いますか?の問いから始まりました。

0.5～6秒(諸説あり)の短時間で第一印象が決まると言われ、短時間で経済水準、教育水準、信頼性、社会的地位、経済的背景、成功水準、品性も判断しているとのこと。

見た目の乱れは心の乱れを表し、見た目は意識の高さで、自分のためではなく相手に敬意を伝えるコミュニケーションツールといえるようです。

山岡さんによると、「お洒落」は自分のため、『身だしなみ』は相手のためなので、仕事には絶対必要な自己投資ですから、自己投資ができない人は、大きな成功をつかめない。見た目が整うだけで、-3キロ、-3歳、服装が+3万円クオリティアップし、第一印象で選ばれるようになり、お客様を紹介してもらえるようになる上、名刺交換で覚えてもらえるようになる。さらに、社員の心をつかめるようになり、影響力が上がり、家族(奥様・お子様)からもモテる!そうです。

見た目が変わると周りへの影響力が変わるという before、after 写真での事例紹介もありました。

また、間違った考え方として、

- ・良いモノ=高いモノさえ着ていれば素敵に見える
 - ・みんなが着ているようなものを着ると安心
 - ・少し大きめの服の方が長く着れ動きやすくて良い
 - ・昔買った「高かった服」が捨てられない
 - ・黒を着ていると無難だし、大丈夫
 - ・ファストファッションだから何でも良い
- 等があり、間違った選び方をした結果、
- ・『似合っていない』と偽物や安っぽく見える

- ・地味になったり、無理をしているように見える
 - ・ルーズに、だらしく見える
 - ・結局タンスの肥やしになり必要なものが入らない
 - ・キツく見えたり暗く見えマイナスイメージになる
- ファストファッションでも、似合っていると高見えするため、サイズ感はとても大切なのに、男性は着やすさや動きやすさで選んでしまうことが多い。スーツは作業着ではないので、多少窮屈なものを選びましょうとのことでした。

次に、一番早くて効果的な要素として色があるとのことで、「好きな色」と「似合う色」の違いや、好きな色で基本的性格や人間関係がわかり、種々のサインや食べ物も色が大切とお話ししました。

さらに、食べ物以上に人も見た目は大切なので、セルフカラーマネジメントで色を味方につけ、TPOに合わせて印象を変えるネクタイ選びの重要性について、トランプ大統領や日大アメフト部の内田監督を事例としたお話しもありました。

最後にパーソナルカラーの効果にも触れられ、似合う色を身につけることで、

- ・瞳が綺麗に見える
- ・肌が生き生き輝いて、明るく見える
- ・顔立ちを立体的に、小顔に見せてくれる
- ・垢抜ける
- ・人に褒められる
- ・着ている服が高見えする

そうです。

ミニ講演の中では、メラビアンの法則について少し拡大解釈をした説明がありましたが、研究内容が「言葉そのものや話し方と表情が矛盾していた」という前提条件において、どの要素が優先して判断されているかを調べた結果、「言語情報 7%、聴覚情報が 38%、視覚情報が 55%」になっているわけですから、言語だけに頼ると、印象に残らない結果となります。

技術士は、技術力とそれを表現する言語を大切にしていると思いますが、人の心を動かすためには、素晴らしい主張がマイナスにならないよう、ミニ講演を参考に見た目も大切にしていかがでしょう。

(3) 輝く女性の会の方々のご紹介

交流会には、ご講演頂いた山岡さんの他 7 名の方が参加されておりましたので、テーブルスピーチの内容を含めて、ご紹介します。

① 株式会社インタフェースの五十嵐さん

輝く女性の会のまとめ役で、今回の参加者の調整をして頂きました。

大手証券会社に約 20 年勤務し、その後 1999 年に株式会社インタフェースを設立、取締役就任。企業研修の企画・提案、研修講師を務める。

専門分野としては新入社員研修、女性リーダー研修、マネジメント研修、報連相研修、アンガーマネジメント研修など。

会社の主な業務内容としては、『人と組織と地域をゆたかに』を企業理念として、新入社員から幹部・管理者研修、問題解決研修、報連相研修、コミュニケーション研修などがあり、組織開発では、人事評価制度の構築、組織診断サーベイの実施で生き活きた職場環境づくりの支援を頂けるようです。特徴として、各企業の個別ニーズに合わせて企画・提案をして、成果に結びつけるとのこと。

② 株式会社エルアイズの本山さん

「お客様とわかりあえる関係を創る」をミッションとし、事業として次のような事を行っています。

- ・マーケティングリサーチ：アンケート、グループインタビュー、ホームユーステスト、覆面調査など
- ・マーケティングコンサル：リサーチを元に解決策を考えるグループワーク、店長研修、商品企画など
- ・コンテンツ制作代行：WEB サイトの企画・制作
- ・北海道おみやげ研究所：商品企画・販路拡大(新千歳空港の小笠原商店と協働)

その他、消費者視点のマーケティング会社社長として、取材やテレビ出演が多数あり、HBC「今日ドキッ!」にもコメンテーターとして出演中です。

女性消費者の心理・ニーズ・トレンドについてアンケート調査結果を裏付けに解説するのが好評で、多数の講演実績をお持ちで、道内や札幌市の各種委員も務められています。

③ リージョonz株式会社の陳さん

台湾台南出身で、ユニクロ台湾の店長、人事(採

用・教育)経営改革センターを経験後、2016年12月札幌に移住し、リージョンズ株式会社に転職。海外人材コンサルタントとして、主に台湾出身の高度人材を中心に、北海道で働きたい三か国語ができるポテンシャル第二新卒人材、もしくは即戦力人材の転職支援をしている。一方、海外人材の紹介によって、企業の更なる成長と事業変革をサポートしており、企業と候補者の間に立ち、応募喚起から入社までの工程以外に、海外人材の採用や育成に関するあらゆる悩みにアドバイスをされています。

④ HR LABO の宮治さん

民間企業で人事労務・人材育成に携わり13年、現場の最前線で、人材採用から社員育成・定着化、人事制度構築などを経験したオールラウンダー。

2018年キャリアコンサルタント・研修講師として独立し、民間企業や行政機関、教育機関にて、人材開発・組織開発領域を中心に活動中で、北海道庁事業の採用アドバイザーも務められています。

研修講師としては、特にキャリアアトランプなどの効果的なツールや独自メソッドを活用した体験型ワークショップを得意としており、コンサルタント/カウンセラーとしても活動し、HR・キャリア系対人支援人数は延べ6,800人を超えるそうです。

⑤ 北海道大学医学部医学科広報室の佐藤さん

大学院や医学部の志願者向けパンフレットや大学院ウェブサイトの記事制作などを担当し、大学院志願者に志願先(教室)の情報を提供するウェブコンテンツ Research Archives 制作で、教授陣から入手したさまざまな医学領域の先端情報を記事に織り込んで世に出す作業をされています。

交流会ではパンフレットを基に、科学・技術と社会の橋渡し役である科学技術コミュニケーターを養成する教育プログラム(CoSTEP)の紹介がありました。理系学生や社会人が研究発表、ジャーナリズム、プレゼンスキルなどを養う目的で受講し、多くの修了生が種々の分野で活躍しているそうです。

⑥ mcM の小原さん

札幌出身のフリーアナウンサーで、北海道を中心に活動して20年。アナウンスやナレーションの録音関係、周年パーティーなど各種イベント、セレモ

ニーやトークショー等を得意としており、講演会や結婚式などの依頼も多く、司会のジャンルは多岐に渡ります。想いを、代弁して繋げる、オンリーワンの仕事を心掛けているとのこと。さらに、司会がきっかけで、次世代を担う女性の活躍を応援する「ミス・アースジャパン北海道事務局」のスピーチ講師や審査員を経て、2020年から北海道事務局長を務めておられます。

⑦ 株式会社メディカルシステムネットワークの早川さん

なの花薬局を運営する事業会社を統括する部署で、後方支援として以下の業務に携わっています。

- ・調剤薬局で働く事務スタッフの教育研修全般：教育体系の構築、コンテンツ作成、新卒社員研修の計画・運営、社内教育担当者委員会の運営など
- ・M&Aに伴うPMI：調剤薬局店舗の事務作業をグループ基準にスムーズに合わせられるよう関連部署との調整、暫定書式の作成、M&A会社の事務スタッフへの伝達、システム入替の補助など
- ・薬局業務改善に関すること：薬剤師がより深く患者と関わるように対物業務の効率化・改善策の提案、会社全体の業務運用ルールを検討・発信

3. おわりに

プロのアナウンサーを前にして、自分で作成した式次第とは違う運営をしてしまう迷司会でしたが、最後は岩田副委員長の挨拶で、きっちりと予定時間内に終わることができました。当日は、植村委員長の誕生日と重なっており、サプライズのケーキプレゼントや、永井さんが新規に起業したLinCから、思いをつなぐものづくり事業として素材にこだわったKifferの高級チョコのプレゼントもありました。

会の終了後には、再び女性の会との交流会を実施しても良いのではとの声もあり、次年度以降に向けた企画案に入れたいと思っています。

河村 巧(かわむら たくみ)

技術士(建設/総合技術監理部門)

社会活動委員会
岩田地崎建設株式会社

